

## 今号の主な内容

<b>新年のご挨拶を申し上げます。</b> ..... 1
公益財団法人人材育成ゆふいん財団 役員
財団ニュースは皆様からの情報を募集します。
<b>ゆふいん元気!</b> ..... 2
「下湯平柚子の収穫」「塚原甘酒まつり」レポート!!
<b>【特集】がんばっています!</b> ..... 3
起業家支援事業スタッフの外部研修報告
<b>ゆふいん財団掲示板</b> ..... 4

[発行日] 2012年1月1日  
 [発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団  
 [発行人] 溝口薫平  
 [編集責任者] 霜野圭一  
 [編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863  
 TEL/85-4748 FAX/85-4759  
 E-mail : info@yufuin-zaidan.jp  
 H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

## 新年のご挨拶を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。  
 ゆふいん財団では、0歳から100歳までの「人材育成」として様々な活動に取り組んでいます。その中で最近心に掛かるのが子どもたちの生活です。  
 ゆふいん財団では、国際交流事業で毎年海外での交流活動を行っています。若い時に「海外の異文化に触れる」という経験は、子ども達にとって、とても大切であり大きな力になると思います。成果はすぐには表れませんが、こうした体験が確実に子ども達の力になっている事を確信しているところです。これまで10回も使節団を派遣しているため、海外に行った子ども達が再度ふれあいそれぞれの成長を確認し合う、そうした場があると、今後の交流にも生かされ、より充実した活動になることを信じています。  
 海外だけでなく、身近なところで、単純に子ども達が集まり、楽しく、仲良く遊ぶような機会があると良いと感じます。“子ども達の寄り合い”の場から、老若男女、

地域の方々へと関わりをを広げ、やがて“ふれあいの輪”が大きく広がっていくような、そうした機会を創ることも大切ではないかと感じています。

「今の子どもたちの心は満たされているのでしょうか？」そんな心配をしてしまいます。子どもたちが感性豊かに成長していくためには大人の関わりが不可欠です。子どものすこやかな成長を助けるために地域全体に関わりながらそれぞれの持つ感性をどんどん引き出していくことが、今の時期に求められているのではないかと思います。

子どもと大人の橋渡しをして、ふれあい、子ども達の心を満たし感性を引き出す機会を創り出していくことも、ゆふいん財団の大きな役割ではないかと感じています。今後とも、ゆふいん財団へのご理解とご協力をお願いいたします。

人材育成ゆふいん財団理事

大島 喜久枝



### 公益財団法人 人材育成ゆふいん財団 役員

<b>&lt;理事長&gt;</b>	<b>&lt;常務理事&gt;</b>
溝口 薫平	霜野 圭一
<b>&lt;理事&gt;</b>	
麻生 時寿	高倉 忠雄
阿部 哲哉	田中 明美
岩尾 豊文	時松 辰夫
大島 喜久枝	利光 恵子
金子 裕次	峰 親則
木戸 浩久	
<b>&lt;監事&gt;</b>	
太田 正美	土屋 誠司
<b>&lt;評議員&gt;</b>	
阿部 尚志	田代 教二
衛藤 文和	松村 真知子
河野 雄一	溝口 裕二

### 財団ニュースでは皆様からの情報を募集します。

○財団ニュースでは以下のような人や取り組む活動、学びに関する特集をしていきます。

#### 「ゆふいん元気！」

・ゆふいんで活動している人やグループの取り組みをご紹介します。

#### 「ゆふいんtopic」

・ゆふいんで、今最も旬な話題をご紹介します。

#### 「0歳から100歳までの「ゆふいんの学び」」

・民間が行う学習の機会や勉強会を取材・ご紹介いたします。

#### 「ゆふいんあの人・この人」

・ゆふいんの名人、達人を取材・ご紹介いたします。

#### 「がんばっています！」

・長年努力されている方、新たに取り組みを始めた方など、とにかくがんばっている人を取材・ご紹介いたします。

#### 「私も会員です！」

・ゆふいん財団の会員の方をご紹介させていただきます。

## ゆふいん元気！ 下湯平・畑地区で柚子収穫のお手伝い

街にただよう柚子の香り・・・気持ちがなごみます。柚子の木のある家では、自家製柚子胡椒、柚子練りを作られる方も多いのではないでしょうか。

12月初旬に、湯平・畑(はた)地区にある柚子畑へ収穫に行ってきました。この地区には「柚子加工組合」があり、柚子の加工品づくりと、高齢化・後継者不足などで手を入れられなくなった柚子畑の管理を引き受けています。しかし、この組合もできて25年。高齢化が進んで手が足りないそうです。そこで由布院観光協会の若手や、関心のある人たちがお手伝いをしました。

収穫作業はスリリング。枝にトゲがあるので、恐る恐る実を手を伸ばして収穫しました。切った枝も要注意です。その辺に散らかすと、トゲを踏んでしまうので、きちんとまとめて片付けます。乾燥したトゲは、靴底を貫通してしまうぐらいの固さです。素敵な香りの裏に、こんな一面があるとは知りませんでした。

畑地区には「百年柚子」と呼ばれる貴重な柚子があります。この柚子で、柚子胡椒や柚子練りを作ったり、お土産として販売している店・旅館もあります。けれども、柚子を収穫する人がいなければ、加工品を作ることはできません。育ててくれる人がいて、私たちは食べることができる。柚子に限らず農業全体に通じることです。

ひとつの柚子から、農業の大変さと大切さが見えた一日でした。組合では2月に枝の剪定(せんてい)をするそうです。

(記)ユクリエ 恒吉 美智子



## ゆふいん元気！ 塚原地区「甘酒まつり」12月11日(日)

12月11日と言えば塚原地区の「甘酒まつり」です。このお祭りは、日曜、平日関係なく、ずっと変わらずこの日に「霧島神社」で開催されてきました。手作りの甘酒が振る舞われると聞いて、取材に行ってみることにしました。

「甘酒まつり」は、今年の五穀豊穡に感謝して、新米で甘酒を造り、神様に捧げます。神事の後に配られるこの甘酒を飲むと、これから一年、健康で無事に過ごせるそうです。甘酒をいただきに、多くの参拝者が集まっていました。

「甘酒まつり」は氏子の男性だけで行うということで知られています。境内の横にある「甘酒小屋」での仕込み、神事、まつりの後の直会(なおらい)も、すべて男性だけで準備して行っているそうです。でも、実は女性も裏方役で、甘酒を温めて配っていました。「家で作る時は、もち米8に米2、こうじの袋1を混ぜて、しばらく寝かすんよ。毎日かき混ぜてはちょっと味見するのが楽しみ」と甘酒の造り方を教えてくれました。いただいた甘酒はほど良い甘さ、お米のつぶつぶの食感もよく、とても美味しかったです。これでばっちり無病息災!? 良い新年が迎えられそうです。

まつりの後に神社周辺の集落を散策しました。由布院盆地に比べて標高が高い塚原地区は、水が豊富な地域です。由布岳のおかげでしょうか。この地域に数百年と人が暮らし、祭りを続けている歴史を深く感じました。

(記)ユクリエ 恒吉 美智子



がんばって  
います!  
【特集】

公益目的事業1-③人材育成活性化のための調査研究事業(起業家支援事業)  
エコツーリズムの研究・開発、里山資源の商品開発に  
取り組むスタッフが外部研修に行ってきました!

### エコツーリズム研究・開発分野 高知県四万十「サコダデザイン」 へ研修に行ってきました。



ユクリエ  
恒吉 美智子

「サコダデザイン」は、四万十地域で作られる商品(加工品)のパッケージデザイン、地元企業のパンフレット、情報誌など多岐にわたるデザインをしています。また、単に見た目の良いデザインを作るのではなく、コンセプト作りの段階から関わり、その結果としてキャッチコピーや地域に根差したデザインを生み出しています。私がここで学んだのは、地域の本質の捉え方とその表現の方法です。表現の方法=「地域」が伝わる切り口・見せ方は、簡単に見つけられるようにはなりません、大切なのは「地域の暮らしを丁寧に見つめる」「毎日発想すること」だと教えられました。また、田舎ほど良いデザインを必要としていることを切に感じました。



■いざシュノーケルを装着



■サザエをその場でお刺身に!

エコツアーにおいて10年の実績があり、ガイドの育成にも力を入れている「海島遊民くらぶ」へ2週間研修に行ってきました。ちょうど夏

休み期間中ということもあり、鳥羽の豊かな海を舞台にしたシュノーケルやシーカヤック体験の出来るツアーが販売されており、家族で参加しているお客様が多かったです。その他にも、鳥羽のまちをつまみ食いしながら巡るウォーキングツアーやストーリー性のあるツアーなど、どれもスタッフのみなさんが自信を持っているツアーが豊富に用意されていました。実際のツアーに同行、見学させていただき、常にお客様に満足してもらうために改良を加えながら、その時々でベストなツアーを作り上げていることが分かりました。生の現場で様々なことを教えていただきました。

### エコツーリズム研究・開発分野 三重県鳥羽「海島遊民くらぶ」 へ研修に行ってきました。



ユクリエ  
田尾 裕美



■事務所の打ち合わせ風景



■デザインした商品「山間米」

### 里山資源の商品開発分野

## 北海道置戸町と東京都目黒区美術館「DOMA秋岡芳夫展」

へ研修に行ってきました。

11月30日~12月4日まで北海道の置戸町まで研修に行きました。この置戸町は、木工芸品の職人育成に町をあげて取り組んでおり、ゆふいん財団理事で「くぬぎの学校」の指導員でもある時松辰夫先生が、講師として訪れている町でもあります。

最初に向かったのは「オケクラフト森林工芸館」という施設です。置戸町を中心に活躍している職人の作品等を展示販売する場であり、研修生育成や置戸町の文化・歴史の資料を保管している所です。

翌日は置戸町で独立されている職人の工房を訪問し、お話を聞く事ができました。ただ、もの作るだけではなく、売っていくことがとても難しいが、置戸町ではその難しいところを町が支援していると言いました。

研修の終盤には目黒区美術館で秋岡芳夫展を見てきました。故・秋岡芳夫氏は置戸町にも深く関わっていた方です。展示会では生涯の作品を拝見し、ものづくりワークショップにも参加してきました。

研修中に学んだ事は、ここには書ききれないほどの多くの学びがありました。それを一つ一つ思い出し、これからもがんばっていきたいと思います。



くぬぎの学校  
成田 祥二



くぬぎの学校  
松本 洋二



■ものづくりに取り組む方々



■ワークショップ  
に参加

■オケクラフト  
森林工芸館

# ゆふいんTOPIC 「第23回ゆふいんこども映画祭」／3月3日(土)開催

「第23回ゆふいんこども映画祭」(主催:由布市教育委員会・こども映画祭実行委員会)が3月3日(土)に開催されます。今年は1日限りの開催日程で、午前・午後は日本映画、夜はフランス映画の最新作、名作が上映されます。子ども達の力作のポスターの掲載期間は、2月25日(土)～3月3日(土)です。詳しくは、今後の広報等でご確認の上、3月の開催時にはぜひご来場下さい。



## ＜上映作品スケジュール＞

3月 3日 (土)	午前	10:00～「くまのがっこう～ジャッキーとケイティ・チェブラーシカ」(91分)
		11:40～「セロ弾きのゴーシュ」(63分)
	午後	13:30～「ホッタラケの島 遥と魔法の鏡」(98分)
	15:15～「どこまでもいこう」(75分)	
夜	19:00～「100歳の少年と12通の手紙」(105分)	

■チケット料金  
 こどもフリーパス券(市内小・中学生) 500円(全て鑑賞可)  
 大人フリーパス券 1,200円(全て鑑賞可)  
 小、中学生 300円(当日券なし)  
 大人(高校生以上) 600円(当日800円1回券)  
 大人2枚綴り券 1,000円(当日1,200円)  
 ※詳しくは、由布市中央公民館(84-2604)までお問い合わせ下さい。

## INFORMATION

### 人材育成ゆふいん財団 掲示板

#### (1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。

・上田玲子さま(川南)より(香典返しとして)

100,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1、2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

#### 公益目的事業1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

#### 公益目的事業2

市民の実践活動の促進を援助する事業

#### (2) 平成23年度市民実践活動への助成・顕彰事業が決定しました。

「ゆふいんアートホール」【プロジェクト名】由布院駅アートホール20周年記念誌の発行

(詳しい内容については次号でご紹介致します。)

#### (3) 国際交流事業からのお願い(公募)

##### ホームステイのホストファミリーを募集します

・2月25日、26日の2日間、韓国・水原市青少年育成財団の交流団が湯布院を訪れ、湯布院や日本の生活を学びにやってきました。

・韓国・水原市からの使節団の子どもたち(中学生と高校生・総勢4～6名の予定)のホームステイのホストファミリーを募集します。

2日間の夕食・朝食と宿泊の受け入れをしていただける方はゆふいん財団までご連絡下さい(実費に対する謝金をお支払します)。

お問い合わせ:85-4748:担当 大澤まで

#### (4) ゆふいん財団からのお知らせ

～人材育成ゆふいん財団設立20周年記念事業～

##### 【記念講演会】

講師:辻野 功氏

日時:3月25日(日)13時～

場所:湯布院公民館大ホール

##### 【記念交流会】

日時:3月25日(日)17時～

場所:(未定)

##### 子ども交流使節団の卒業生大集合!

これまでの国際交流事業子ども使節団に参加した子どもたちをご招待したいと思います。久しぶりに集まる同窓会のような気分で、ぜひお越しください!お待ちしております。

## 編集後記

さあ、新しい年がスタートしました。お正月はお餅三昧。お雑煮におしるこ、焼きもちと体重が増えてしまいます。食べ過ぎ注意の体なのですが、すっかり英気を養いました。今年は年始から大忙しになりそうです。

2月は韓国・水原市青少年育成財団の交流団が湯布院を訪れます。これからまた新しい親善と交流を創り出していきたいと思います。3月は人材育成ゆふいん財団設立20周年記念事業です。これまでの歩みを大いにお祝いしたいと思います。そのための準備が1月。より一層冷え込みが厳しくなってきますが、しっかり健康管理をして頑張っていきたいと思います。

ゆふいん財団の起業家支援事業の4人のスタッフもいよいよラストスパートです。それから受験生の皆さんも今からラストスパート。お体には気をつけて、どうか頑張ってください。良い春の季節を待ちたいと思います。(事務局・大澤直彦)

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>